

水系都市 京都

水インフラと都市拡張

小野 芳朗 編著

▼A5判・三二〇頁／定価・本体 五、四〇〇円(税別)

ISBN978-4-7842-1815-8

【二〇一五年八月刊行予定】

都市経営の重要な要素のひとつが、利水・治水を含めた水の制御である。豊富な地下水により清涼な飲料水を得てきた京都は「山紫水明」の地とたたえられる。しかしその美名とは裏腹に、灌漑・防火用の表流水の欠乏に古来悩まされつづけた都市であった。そして明治二三年に竣工した琵琶湖疏水こそ、この問題を解決し、その都市構造さえ変えてしまう画期的な事業だった。

近代京都の都市史を水量・水質・水利権に着目して水インフラという視点から論じるとともに、同一水系に属する伏見が一度は独立市制を志しながら京都市へ合併される顛末を明らかにする。

○ 予定内容目次 ○

はじめに

■ 第一部 防火都市・農業都市の京都 ■

第一章 京都・御所用水の役割

- 一、近世までの京の水支配
- 二、明治四年以降の御所用水
水の支配の変遷／用水絶水と水番役／旱魃時の対応と用水の汚濁
- 三、琵琶湖疏水竣工後の御所用水
疏水の竣工／御苑外の水路工事／灌漑用水／御用水欠乏事件

第二章 都市経営における琵琶湖疏水の意義

- 一、琵琶湖疏水の開削
- 二、琵琶湖疏水建設のための疏水線路
鴨東における疏水線路／疏水線路の土地の買上／まとめ
- 三、鴨川東部における疏水本線沿線の水力利用
史料の検証―水車動力に関して―／鴨川東部・船溜周辺の水力利用産業の盛衰／まとめ
- 四、庭園と防火
既往研究の成果／本論で扱った資料／水力使用の実態と庭園群の出現／まとめ

第三章 水道インフラ整備

- 一、コレラ流行と祇園祭
井戸水水質／博覧会と祇園祭
- 二、第二疏水
上水道と下水道／京都二大策／京都市三大事業
- 三、御所水道

■ 第二部 大京都への都市拡大と伏見編入 ■

第一章 栄光の伏見

- 一、伏見の概要
- 二、第二部の主題
- 三、京伏合併理由の定説に関する論点整理

第二章 大京都構想と大伏見構想

- 一、都市計画事業概説
- 二、京都市の都市計画と伏見の位置付
- 三、編入圧力と独立市制施行
- 四、浜田案提示と伏見独立市制
- 五、宇治川派流埋立工事問題

第三章 伏見市制の挫折と 京都市への編入プロセス

- 一、伏見市制の論理・中野種一郎の施策の検証
- 二、京都市・市の論理・佐上信一の合併推進論

資料編／索引



相国寺境内の御所用水跡

おの・よしろう：一九五七年生。京都大学大学院工学研究科衛生工学専攻修士課程修了。博士（京都大学・工学）。京都大学工学部講師、岡山大学大学院環境学研究科教授を経て、現在、京都工芸繊維大学副学長・教授。

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注 文 票		発 行 : 思 文 閣 出 版		(京 都 取 引 コ ー ド 3402)	
冊 数	冊	水 系 都 市 京 都		本 体 5 , 4 0 0 円 (税 別)	ISBN978-4-7842-1815-8
お 名 前				tel	本書 H P の Q R コ ー ド 
				e-mail	
ご 住 所	〒				
送 本 方 法	代 引 (書 籍 代 + 消 費 税 + 送 料 4 0 0 円 を 現 品 と 引 き 替 え に お 支 払 い 、 代 引 手 数 料 は 弊 社 負 担) ◎ 最 寄 り の 書 店 ・ ネ ッ ト 書 店 で も お 買 い 求 め 、 お 取 り 寄 せ で き ま す ◎				

京都 近代の記憶 場所・人・建築

中川 理 著 【2015年 8 月刊行予定】

京都はよく「千年のみやこ」と言われる。確かに平安京ができて千年以上たつ都市である。しかし、平安京の姿そのままの遺構など実はどこにも残されていない――。

東京遷都により没落の危機に見舞われ、都市改造や近代建築の導入に積極的に取り組む一方で、まさに生き残りを懸けて「千年のみやこ」を演じてきた街、京都。いまある京都の魅力はいつ、どのように作られたのか? 「歴史都市」の近代化の過程で生まれたさまざまなエピソードを、場所・人・建築をキーワードとして写真とともに綴る。

【内容】近代化の舞台となった岡崎／場所と空間・建築／歴史と空間・建築／街に寄り添う様式／京都モダニズム／基督教の文化／近代を駆け抜けた建築家／保存と演出／京都周辺のまち

▶A5判・172頁／本体 2,200円(税別) ISBN978-4-7842-1812-7

近代京都研究

丸山宏・伊従勉・高木博志編

歴史都市・京都は、近代に大きく変わったまちであった。近代の京都には研究対象になる豊富な素材が無尽蔵にある。本書は、京都という都市をどのように相対化できるのか、普遍性と特殊性を射程に入れながら、近代史を中心に分野を超えた研究者たちが多数参加し切磋琢磨した共同研究の成果。

▶A5判・628頁／本体 9,000円(税別) ISBN978-4-7842-1413-6

近代日本と地域振興 京都府の近代

高久領之介著

近代日本の地域社会の姿を、京都府下における、明治前期の京都官津間車道の開鑿・明治前期～中期にかけての琵琶湖疏水と鴨川運河の開鑿・明治初期～昭和の敗戦直後までの天橋立の保存とその振興・明治初期～昭和の敗戦直後にかけての童仙房村の開拓、という特定のテーマを取り上げ、地域振興の視点から考察する。

▶A5判・364頁／本体 6,500円(税別) ISBN978-4-7842-1570-6

※京都 高瀬川 角倉了以・素庵の遺産

石田孝喜著

京都の高瀬川は江戸時代初期、角倉了以・素庵父子によって開削され、京都の中心部と伏見港を結んだ10.5キロメートルの運河。歴史に埋もれた史料をねばり強く探索し、高瀬川の流れとともに研究を続けてきた著者が、運河開削の歴史をたどり、舟入や橋の変遷など、多面から歴史と文化のすがたを描く。図版多数。

▶A5判・250頁／本体 2,200円(税別) ISBN978-4-7842-1253-8

近代地方政治と水利土木

服部敬著

淀川・安威川・神崎川の水利構造の変遷と分析、沿岸住民の治水運動と中央・地方議会と政党の対応、近代化の意味と中央集権的近代国家の性格を地域史の視座から問う。【内容】近代国家の成立と水利慣行／水利組合の成立とその機能／淀川改修運動と地方政治の動向／日露戦後の農事改良政策と水利問題

▶A5判・400頁／本体 6,600円(税別) ISBN978-4-7842-0873-9

※都道府県庁舎 その建築史的考察

石田潤一郎著

明治維新以降、今日まで100件をこえる都道府県庁舎が建設されてきた。本書では、一次史料をもとに同庁舎の歴史的展開を個別にあとづけ、地方行政制度史・地域史の中で位置づけるとともに、図版史料によってその平面計画及び立面意匠の具体的な把握も試みた。収録図版200余点。

▶A5判・448頁／本体 8,600円(税別) ISBN978-4-7842-0775-6

近代京都の施薬院

八木聖弥著

明治維新から大正期にかけて、奈良時代に貧窮病者救済のために設置された「施薬院」の復興に尽力した安藤精軒(1835-1918)の活動から、「施薬院」を中心とした京都医界の歴史を描き出し、近代化していく日本の一側面を考察する。

▶A5判・304頁／本体 3,500円(税別) ISBN978-4-7842-1705-2

近代日本の歴史都市 古都と城下町

高木博志編

「古都」京都・奈良、「加賀百万石」の金沢、伊達政宗の仙台など、都市は実にさまざまな歴史性をまとっている。しかしそれらは、近代化の過程で発見され、選び取られたイメージであった。本書は「都市の歴史性」をキーワードに、分野を超えた研究者たちが参加した京都大学人文科学研究所・共同研究「近代古都研究」班の成果。

▶A5判・600頁／本体 7,800円(税別) ISBN978-4-7842-1700-7

北垣国道日記「塵海」

塵海研究会編

北垣国道(1836-1916)は、京都府知事に就任した明治14年(1881)から、北海道庁長官・拓殖務次官などを経て、隠棲した明治34年(1901)までの活動や人々との交流を日記に書き残した。明治期地方官の実情を記し、京都のみならず中央政府史や地方自治・土木史・北海道史研究に寄与する資料。

▶A5判・652頁／本体 9,800円(税別) ISBN978-4-7842-1499-0

みやこの近代

丸山宏・伊従勉・高木博志編

平安や桃山時代がしばしば話題になる歴史都市・京都は、実は近現代に大きく変わったまちであった。京都大学人文科学研究所「近代京都研究会」で論じられたさまざまな分野の具体的な主題をもとに、近代現代の京都の根本問題を見通す視座を形成しようとする試みの85篇。

▶A5判・268頁／本体 2,600円(税別) ISBN978-4-7842-1378-8

京都の歴史災害

吉越昭久・片平博文編

歴史上、京都を襲ったさまざまな災害をとりあげ、地理情報システム(GIS)などによる災害範囲や規模の復原、特徴や被害発生社会的背景の分析、また人々の取り組みなどを論じる。地理学、歴史学、工学など多様な分野の研究者による、立命館大学G-COEプログラム「文化遺産の防災」プロジェクトの成果。

▶A5判・322頁／本体 2,300円(税別) ISBN978-4-7842-1643-7

※京の鴨川と橋 その歴史と生活

門脇禎二・朝尾直弘編

歴史都市京都のシンボリック的存在である鴨川とそこに架かる橋について、平安京以前から昭和まで、各時代の様子を具体的に明らかにし、人々の暮らしの中でどのような意味を持っていたかを探る。

【内容】山代(山脊)のカモ川／橋と寺社・関所の修造事業／四条・五条橋の橋軸進と一条戻橋の橋寺／公儀橋から町衆の橋まで 他

▶46判・250頁／本体 2,200円(税別) ISBN978-4-7842-1082-4

近代日本の都市社会政策とマイノリティ

歴史都市の社会史

杉本弘幸著

近代日本の社会政策・社会福祉の受益者である社会的マイノリティはどのように政策形成に関与しようとし、政策に包摂されていったのか。政策の受益者の動向から再構成した社会政策史・社会福祉史の実証研究を提示する一書。

▶A5判・412頁／本体 7,200円(税別) ISBN978-4-7842-1789-2

近代日本〈陳列所〉研究

三宅拓也著

本書が扱う〈陳列所〉とは、地方行政政府によって建設された公共の陳列施設である。これらが、都市の農業・工業・商業を奨励する目的で各地に設置された経緯を検証し、制度・活動・建築を含めて都市との関わりに注目することで、明治から昭和戦前期の日本にあまねく普及した〈陳列所〉の実態を、豊富な図版とともに明らかにする。

▶A5判・640頁／本体 7,800円(税別) ISBN978-4-7842-1788-5

※明治の避病院 駒込病院医局日誌抄

磯貝元編

当時わが国の代表的な伝染病院であった駒込病院の勤務医が当直時に書き誌した医局日誌全十一帖(明治32年～42年)から編者(元駒込病院副院長)による脚注を付して翻刻抄録。医療史はもとより社会史・文化史・風俗史など近代史の一側面を明かす資料。

▶A5判・530頁／本体 13,000円(税別) ISBN978-4-7842-0998-9

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。